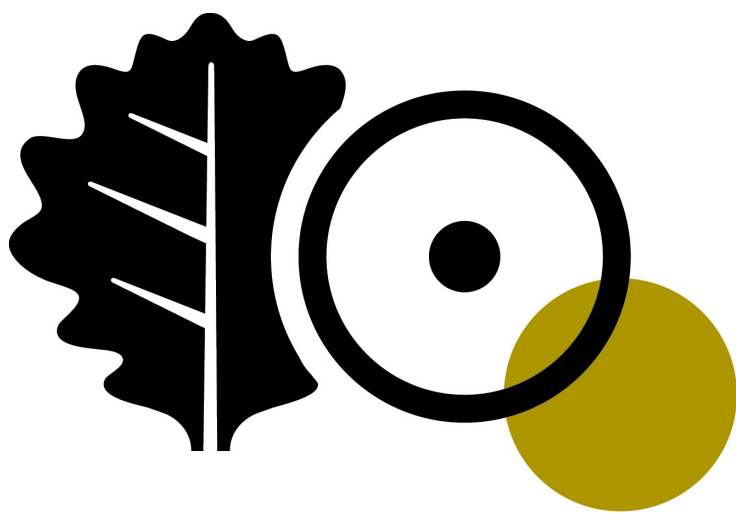


第2回 寛仁親王記念ワールドグランプリ 国際自転車競技大会

The 2nd PRINCE TOMOHITO MEMORIAL WORLD GRAND PRIX CYCLING

JICF国際トラックカップ2016(全日本学生トラックレースシリーズ2015-16シーズン最終戦)
JICF International Tack Cup 2016 /The Final round of Japan Intercollegiate Track Race Series 2014-15 Season



PRINCE TOMOHITO MEMORIAL WORLD GRAND PRIX

2016年2月6-7日

6-7 FEB.2016

IZU-VELODROME

UCI CLASS-3 TRACK EVENT

静岡県伊豆市伊豆ベロドローム

主催/主管：日本学生自転車競技連盟

後援：公益財団法人日本自転車競技連盟（予定）

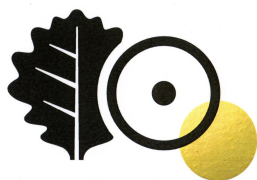
<http://princetomohito-memorial-wgp.com/>

E-mail:jicf@remus.dti.ne.jp

企 画 書

Ver.1.6 2016.01.06.版

1. はじめに



PRINCE TOMOHITO MEMORIAL WORLD GRAND PRIX

自転車競技は1896年にアテネで開催された第一回近代オリンピックで実施された8競技のうちのひとつで、現代に至る歴史と伝統あるスポーツです。現在、国際自転車競技連合（UCI）の管轄する自転車競技は8分野にまがりますが、その中でもトラック競技は歴史の長さや種目のバリエーションの豊富さも相俟って、根強い人気があります。ロードレースが隆盛を極める中、やや人気に陰りの見られた時期もありましたが、依然としてオリンピック種目の中では大きなウエイトを占めています。

近年、UCIはトラック競技の振興に力を入れ、世界各国における国際的なトラック競技大会の開催を推進してきています。UCI規則のなかでも、世界選手権出場国に自国内での国際トラック大会の開催を義務づけを行い、選手強化だけでなくイベントの開催を通じて競技の振興を図る姿勢を明確にしています。このような世界的な潮流のなかで、日本も国際トラック大会の開催をより活性化すべき時期にきています。日本でも以前は1995年にトラック・ワールドカップを東京ドームで開催した経験があります。またアジア地域でのトラック競技の普及振興を目指して「トラック・アジア・カップ」がおこなわれてきましたが、日本での開催は2010年函館での開催が最後で、それ以降の日本においては多数の国が参加する国際トラック大会の開催が途絶えていました。（日韓学生対抗自転車競技大会はトラックの国際大会として日本・韓国で交互に開催されています）

日本では2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定され、自転車競技の振興に一層のはずみがつくことが期待されています。諸外国からの代表選手を受け入れて、日本国内で国際大会を開催することは、競技力を向上し、日本の若手選手に身近で本格的大会を見たり参加して競ったりする機会を提供し、競技運営面でも審判団のスキルや運営スタッフの熟練度向上、審判・競技運営器材の整備充実などに高い効果が期待されます。

このような中で、2014年7月に第1回 寛仁親王記念ワールドグランプリ 国際自転車競技大会が、全日本学生選手権トラック自転車競技大会と併行して静岡県伊豆市大野の伊豆ベロドロームで開催されました。日本の大学生、高校生も多数参加する中、韓国、スイス、カナダ、オーストラリアなどからの参加者との熱戦が繰り広げられました。更に大会当日は彬子女王殿下の拝謁も頂き、選手・主催者・開催地地元にとってもたいへん光栄な大会となりました。こうしてこの大会は、競技力向上や上位国際大会への参加資格ポイント獲得のみならず、海外選手との国際交流という面でも大きな成果がありました。

このような成果を受け、第2回 寛仁親王記念ワールドグランプリ 国際自転車競技大会を、2016年2月に、全日本学生トラックレースシリーズ最終戦と併催として実施しようとするものです。

2. 自転車競技トラック国際大会の種類

自転車競技のトラック国際大会には、アジアを例にとると以下のような種類があります。

- ・オリンピック ・世界選手権 ・ワールドカップ ・アジア選手権大会 ・アジア大会
- ・国際競技大会クラス1（5ヶ国以上参加） ・国際競技大会クラス2（4ヶ国以上参加）
- ・国際競技大会クラス3（3ヶ国以上参加）

日本は世界選手権参加国としてUCI競技規則により国際競技大会の開催義務があります

3. トラック国際大会としての大会グレード（クラス）

（UCI規則3.8.003項）

- ・3ヶ国以上の参加（クラス3）～ 5ヶ国以上の参加（クラス1）
- ・男子エリートカテゴリの実施
- ・女子エリート、男女U23、男女ジュニアから最小3カテゴリの実施
- ・最小5種目の実施（カテゴリごとの世界選手権実施種目に限る）

また開催競技場は、オリンピックや世界選手権の開催競技場標準である250M屋内走路UCI公認競技場が望ましく、少なくとも333M以下の周長である必要があります。日本では福島県泉崎サイクルスタジアム、松本市自転車競技場と静岡県伊豆ベロドロームが候補地となります。

大会クラス毎に定められたUCIランキングポイントが与えられ、たとえば個人種目優勝者にはクラス3では30点、クラス2では60点、クラス1では80点が与えられます。

本大会は、クラス3のグレードで実施します。

4. 参加国

国際大会は国際自転車競技連合（UCI）競技日程に登録・公開され、参加を希望する世界各国に開かれたものになります。一方、積極的な参加を促すために近隣諸国へ招待状を送付することが一般的に行われています。アジアでの開催では、アジア自転車競技連合加盟41ヶ国のすべて、もしくはトラック競技がある程度盛んであり、日本へのアクセスもよい諸国、たとえば韓国、中国、香港、台湾、マレーシア、タイなどに招待状を発信することが有効と思われます。主としてアジア自転車競技連合加盟41ヶ国のなかから参加国を募ります

5. 開催概要

本大会では、日本学生自転車競技連盟の「全日本学生トラックシリーズ最終戦」と並行開催することにより、学生・若年層競技者が本格的において実力のある選手と直に接し、お互いに刺激しあうチャンスになるとともに、共通の審判団による2大会並行開催での効率的な運営により、大きな相乗効果を生むことが期待されます。また、国際大会のメディア露出と合わせて学生選手の活躍のPRの場として活用されることも期待されます。

(大会名) :

The 2nd PRINCE TOMOHITO MEMORIAL WORLD GRAND PRIX JICF International Tack Cup 2016 /

JICF国際トラックカップ2016 / 第2回寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会

Class:

Sanctioned by UCI as "Track CLASS-3" event

大会クラス

UCI トラック国際大会クラス3

Date:

6-7 Feb. 2016

日程

2016年2月6-7日

Venue:

IZU Velodrome

会場

伊豆ベロドローム

Address: 1826 Ono, IZU-City, Shizuoka, 410-2402 JAPAN

住所: 〒410-2402静岡県伊豆市大野1826

Specification: Indoor Velodrome, 250 m tracks with wooden surface and track width 7.5m

屋内競技場、走路表面木製、周長250M、幅員7.5M

Organizer:

Japan Intercollegiate Cycling Federation

主催者

日本学生自転車競技連盟

Address: Rm412 Kishi memorial hall, 1-1-1 Jin-nan, Shibuya-ku, Tokyo 150-8050 JAPAN

住所: 〒150-8050東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館412号室

Support:

Japanese Cycling Federation

後援

公益財団法人 日本自転車競技連盟

Technical management:

Japan Intercollegiate Cycling Federation

競技主管

日本学生自転車競技連盟

Rm412 Kishi-Memorial Hall, 1-1-1 Jin-nan, Shibuya-ku, Tokyo 150-8050 JAPAN

〒150-8050東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館412号室

Email: jicf@remus.dti.ne.jp

Website: <http://princetomohito-memorial-wgp.com/>

Official Accomodation:

"HOTEL OLIVE NO KI"

公式宿舎

ホテル オリーブの木

Address: 322-1 URYUNO,

〒410-2412静岡県伊豆市瓜生野322-1

IZU-City, Shizuoka, 410-2412 JAPAN

Tel: +81 558-74-0810

Website: <http://izu.tokinsumika.com/olive/>

Participation (参加) :

All type of teams including UCI, National, Club teams are acceptable. The maximum number per team: seven (7) riders (maximum 4 Men and 3 Women) and two (2) officials.

UCIチーム、ナショナルチーム、クラブチームを含むすべてのチームが参加可能。 1チームあたり最大人数は選手7人(男子4名女子3名)、チーム役員2名

Rules and Regulations (競技規則) :

The rules of this event will be conducted in accordance with the latest Regulations of the International Cycling Union (UCI), as Class 3 event.

トラック・クラス3大会として最新版UCIトラック規則が適用されます。

Penalty (ペナルティ) :

The UCI penalty is the only one applicable.

UCIペナルティ規則のみが適用されます。

Age of Competitors (参加者の年齢) :

Participation in Elite Categories shall be open to riders aged 18 and over. Junior Categories shall be open to riders 17 & 18 years old.

*Riders of the age 18 can decide whether they want to race the entire race as elite or junior.

エリートカテゴリは18歳以上。ジュニアは17歳と18歳。18歳の選手は、全レースについてエリートかジュニアのいずれか一方を選択のこと。

Registration Procedure (参加登録手続) :

All National Federations, teams, or clubs shall return the entry form by number before 15th Dec 2015 and entry form by name before 31 Dec. 2015 by email to:

国内連盟・チーム・クラブは、12月15日までに参加者数を、12月31日までに参加者氏名を下記宛に電子メールにて送付のこと :

Entry dead line is extended until 19th Jan.2016. エントリー締め切りを2016年1月19日まで延長する。

Japan Intercollegiate Cycling Federation 日本学生自転車競技連盟
Rm412 Kishi-Memorial Hall, 1-1-1 Jin-nan, Shibuya-ku, Tokyo 150-8050 JAPAN
〒150-8050東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館412号室
Email (電子メール) :jicf@remus.dti.ne.jp
Website (ウェブサイト) : <http://princetomohito-memorial-wgp.com/>

Tentative Schedule (暫定スケジュール) :

05 Feb 2016 (FRI)	Arrival of Teams	チーム到着
06 Feb 2016 (SAT)	8:00 License Control & Team Managers' Meeting	8:00 ライセンスコントロール、監督会議
	Day 1	競技第1日
07 Feb 2016 (SUN)	Day 2, Departure of Teams	競技第2日、出発
08 Feb 2016 (MON)	Departure of Teams	出発

Events (競技種目) :

The maximum number of the participation in each event per team shall be as follows:
 種目毎のチーム当たり最大参加人数は下記の通り

Event	種目	Men		Women	
		Elite	Junior	Elite	Junior
Omnium	オムニアム	2	-	1	-
sprint	スプリント	2	1	1	-
1KM Time Trial	タイムトライアル	2	2	-	-
500M Time Trial	タイムトライアル	-	-	2	2
MADISON	マディソン	1 team	-	1 team	-
Team Sprint	チームスプリント	1 team	1 team	1 team	1 team
Team Pursuit	チームパーシュート	1 team	1 team	1 team	1 team
SCRATCH	スクラッチ		2		2

Award (賞典) :

Memorial goods will be presented to the first 3 riders of each event. Minus one rule is applied in case of less than 4 participants.

上位3名に記念品が授与される。参加者4名未満の場合はマイナス1ルールが適用される。

Uniform/Team Jersey (ジャージ) :

Competitors must wear their team jerseys under the UCI's apparels regulations.

競技者はUCIアパレル規則に則りチームジャージを着用しなければならない。

License control / Confirmation of starters / Body number issue**(ライセンスコントロール・出走者確認・ゼッケン配布) :**

License control / Confirmation of starters / Body number issue are organised at 8:00-8:30 on 6th Feb 2016 at the meeting room of IZU Velodrome. ライセンスコントロール、出走者確認、ゼッケン配布は2月6日8時より伊豆ベロドローム会議室にて行われる。

Team Managers' Meeting (監督会議) :

The team managers' meeting will be held at 9:00 on 6th Feb 2016 at the meeting room of IZU Velodrome. It is compulsory for team manager or team representative to attend the team managers' meeting. 監督会議は2月6日9時00分より伊豆ベロドローム会議室にて行われる。チーム監督またはチーム代表者は出席の義務がある。

Team Representation (チーム代表者) :

Each team shall designate a Team Manager. The Team Manager shall represent the team. Any contact with the teams shall be made through the Team Manager. Team manager have to have their valid licence.

各チームはチーム監督を指名すること。チーム監督はチームを代表する。チームとの連絡はチーム監督を通じて行われる。チーム監督・チーム代表者は有効なライセンス持参の事。

Expenses (費用) :

Air fare & accomodation (航空運賃・宿舎) :

・ The expenses of round trip air tickets to Tokyo/Japan and countries of origin will be borne by the participating team.

日本・東京への往復航空券代は参加チームの負担とします。

・ All the participating team will be responsible for the cost of their team's accommodation and meals. The organiser will provide the participating teams with special offer for accommodation, meals and local transportation from 5- 8 Feb 2016.

The first meal will be commenced at the dinner on 5th Feb 2016 and the final meal will be the breakfast on 8th Feb 2016.

・ Special offer in US Dollar, including accommodation, meals:

USD \$80.00 per person per night, sharing a multiple room for 4 person.

(Please note that public bathroom with hot water shower is available, but no private shower is available in this accommodation.)

すべての参加者の宿舎と食事のコストはチームの負担とします。主催者は2月5日夕食から2月8日朝食までの食事と宿舎を特別価格で用意します。提供価格は一人一泊80USドル、4人部屋利用(個室シャワー無し、共同トイレ、共同浴場利用)

・ Teams who send more members and arrive earlier as well as leave Japan later than the dates specified above, should have to pay for their accommodation at US \$80 per day per person (on same room sharing basis) and also have to be responsible for their meals by their own.

・ If any team requires single room, the team must inform the organiser 3 weeks before the team arrival. The expense for single room is US \$150 per day per person. Any registration after the deadline designated in the following **Registration Procedure** will not be guaranteed for the accommodation reservation and additional cost may be incurred.

またチーム当たり規程人数以上の参加、招待期間以前の到着、以降の出発に関しては1泊80ドルの負担(4人部屋)が生じ、食事代は自己負担となります。シングルルームを希望する場合、到着3週間前までに主催者に連絡する必要があり、負担は1人1泊150ドルとなります。以下の登録手続き以降の申込みの場合、宿の確保は保障されず、費用増額の可能性があります。

Airport Transport(空港からの送迎) :

The Organising Committee will help to arrange van vehicle transportation from TOKYO NARITA International Airport, or TOKYO HANEDA International Airport to the official accommodation for each participating team. (And also from accommodation to Airport on way back) Cost of van vehicle should be covered by the team.(80USD/Person). If your team needs help for booking car, please contact to organiser as soon as possible.

主催者は空港(成田または羽田)から会場までのレンタカーの手配のお手伝いを致します、費用は参加チーム負担とします(ひとり80ドル)。必要な場合はできるだけ早くご連絡ください。

Land Transport between accommodation and venue(会場・宿舎間輸送) :

Official accommodation booked by organiser is located about 20 min. driving by car. form track venue. 主催者指定宿舎は会場からクルマで約20分である。

Insurance(保険) :

All participants (include but not limited to team officials, riders and their assistants) are aware that they bear their own responsibility for any injury, accident and / or lost that may occur during their stay in Japan while taking part in this event. Participants should take up a properly insurance before leaving their country in order to protect themselves against any lost and to indemnify themselves against any claims.

全ての参加者は日本における大会期間中に起きうる怪我・事故・損失に関して責任を負う。参加者は自国出発前に、自身の損害と賠償責任をカバーする適切な保険に加入しなければならない。

Other General Information (一般情報) :

Climate – Winter, average temperature is around 5-10°C

気候：冬、気温 5-10°C

Time Difference – GMT +9 hour

時差：グリニッジ標準時+9時間

Voltage – 100Volts. 50Herz. A plug

電圧：100ボルト/50ヘルツ

Currency – USD\$1 = JPN 120 yen

通貨：1アメリカドル=120円

Credit Card – All major credit cards are accepted in Japan,
but Izu velodorme is located rural area.

クレジットカード：主要クレジットカードは日本で使用可能、
ただし会場は農村部にある

Visa – Please check with your Embassy for VISA requirements before
leaving your country. If you need any official invitation letter for VISA Applica-
tion, please contact the organizer.

ビザ：自国出発前に大使館にビザの必要性を確認のこと。招待状が必要な場合はご連絡ください。

For further information, please do not hesitate to contact.

Email:jicf@remus.dti.ne.jp

6. 競技運営組織（案）

大会公認

国際自転車競技連合（UCI）

大会後援

公益財団法人日本自転車競技連盟（JCF）

大会代表

大会会長	村岡 功	日本学生自転車競技連盟 会長 早稲田大学スポーツ科学部教授
大会副会長	井関 康正	日本学生自転車競技連盟 副会長

大会実行委員会

顧問	小山田 斉	
レース・コーディネーター	中川 敏彦	日本学生自転車競技連盟理事
アシスタント・レース・ディレクター	倉田 達樹	日本学生自転車競技連盟 専務理事
トラック・マネージャー	藤井 壽	日本サイクルスポーツセンター
運営スタッフ	十時 隆櫻	日本学生自転車競技連盟学生委員会委員長 ほか 学生委員会委員

競技運営

チーフコミッサー	UCI国際コミッサー
セクレタリ	JCF国内コミッサー
スターター	JCF国内コミッサー
ジャッジ・レフェリー	JCF国内コミッサー
アシスタント・コミッサー	日本学生自転車競技連盟審判部会（ほか）
審判器材	日本学生自転車競技連盟

救 護

大会公式ドクター	未定
----------	----

助 成

ヨネックス財団助成金

協 賛・提 供

未定

